



丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

令和元年5月31日（金）No. 3

横浜市立丸山台小学校長 新井 篤志

目標の共有

副校長 青柳 英樹

今年の4月に、日本やアメリカ、ヨーロッパなどの200人を超える国際研究チームが、おとめ座にある銀河「M87」にあるブラックホールを撮影することに成功したと報道されました。小学生のころ天文に関心があった私には、非常に衝撃的なニュースでした。光さえも引き込んでしまうものなのに、どうして撮影できるのか不思議でなりません。そのニュースから1か月ほどたったころ、国際研究チームの日本の代表を務めた方のインタビュー記事を目にしました。そこには、「みんながブラックホールを見たいというゴールを共有していたから成功した。」とありました。日々の教育活動に照らし合わせると、ゴールは目標やめあてにあたります。ゴールや目標を共有すると成功につながる、そのような思いを抱きながら、5年生の清水宿泊体験学習の引率を行いました。二人乗りカヌーとアウトリガーの様子を見ていた時、はっとさせられました。子どもたちは自然と自分たちの目標を共有していたのです。カヌーもアウトリガーも、自分たちの思う方向へ進むためには、目標（進む方向）を共有しないと進みません。進むための動き、曲がるための動きなど、共有した目標を達成するために、各自の動きがあるからです。終わった後の子どもたちは、「声をかけ合って協力できた。」「仲良くなれた。」と、とても満足げな表情で感想を述べていました。今後の様々な活動の中で、子どもたちも教職員も目標を共有し、より充実した学校生活にしていきたいと思えます。

全市立学校による東京2020オリンピックに向けたカウントダウンリレーのお知らせ

横浜市は、東京2020オリンピックの野球・ソフトボール、サッカー競技の開催自治体です。次代を担う子どもたちに「東京2020大会に参加した」というレガシー（記憶・経験）を送ろうと、平成31年3月から全市立学校を対象としたカウントダウンリレーを実施しています

丸山台小学校はあと「415」日の数字を担当しています。掲載予定日は令和元年6月5日ですので、保護者の皆様もぜひご覧ください。

※掲載日以降も「学校での取組」のページからアーカイブをご確認いただくこともできます。

<掲載先>



東京2020オリンピック・パラリンピック横浜市ウェブサイト

URL : <https://tokyo2020.city.yokohama.lg.jp/>

二次元バーコードはこちら▶

